



第288号

2013年(平成25年)1月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空溝町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

平成二十五年

年頭所感

頌春

社団法人 大阪府臨床検査技師会
会長 運天 政五郎

明けましておめでとうございます。

会員ならびに府民の皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年は国際的に経済が冷え込む中、ロシア、中国、米国、韓国、台湾等、多くの国でリーダーの改選がありました。我国でもデフレ経済、円高、人口構造の少子・高齢化に加えてロシア、中国、韓国との領土問題等が浮上しました。政治も11月に衆議院が解散され、既成政党と第三極の選挙戦に突入するなど波乱の1年でした。

私達、臨床検査技師会に目を向けると、日本臨床衛生検査技師会の会長選挙において宮島会長が選出され、役員も刷新されました。大阪府臨床検査技師会においても、昨年4月に新役員体制がスタートし、役員一同、理事会で承認された所信表明の達成に向けて動き始めました。平成25年は結実の年にすべく意を新たにしているところです。ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

平成25年の目標は以下のとおりです。

1. 定款に掲げている大臨技の目的を遂行する

臨床検査技師の学術技能の研鑽を行い、地域医療の向上を図り府民の健康保持、増進に寄与することを目的に学会、講習会を開催する。講習会は府民を対象にした公開講座、チーム医療として関連する多職種の方々を対象にした研修、臨床検査技師を対象にした専門的な研修に分けて事業を行います。

2. 会員への情報提供を密にする

会の運営に透明性を持たせるため、理事会の情報は「大臨技ニュース」で速報します。議事録はホームページに全文掲載します。

3. 平成24年度中に公益法人へ移行する

年度内の移行に向けて、現在申請の手続きを進めております。

4. 日臨技と都道府県技師会が協力して臨床検査の職域拡大に尽力する

臨床検査の職域拡大は、47都道府県技師会の連合体である日臨技の役割です。そのためには日臨技組織の強化が必要で、都道府県技師会の会員は日臨技の会員であるべきです。日臨技理事として会員の一体化に向けて努力します。

昨年に引き続き役員一同、力を合わせて会を運営していく所存ですので、ご理解とご協力をお願いします。

末筆ながら皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

Theme 「胸痛！！まさかわたしの心臓が…？」

大臨技・大放技合同フォーラムは、診療放射線技師と臨床検査技師が、お互いの業務内容や関連情報を理解し共有することにより、診療に役立つ検査を目指した大阪府放射線技師会・大阪府臨床検査技師会の共催フォーラムです。

また府民公開講座として広く府民の方々にご参加いただき、検査への理解を深め、診療放射線技師と臨床検査技師の役割を紹介しています。

今年度は胸痛をテーマに、心筋血流画像検査（核医学検査）、急性冠症候群における心電図、心エコー検査についての教育講演、関西医科大学附属滝井病院院長の岩坂壽二先生をお招きして、診断・治療についての特別講演を企画しております。ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。

教育講演Ⅰ

14:10～14:50

心筋血流画像評価で知っておきたいこと
 -核医学検査の有用性を中心に-

講師:国立循環器病研究センター病院 放射線部 藤崎 宏

教育講演Ⅱ

14:50～15:30

その痛みの原因を心電図・心エコーで探る

講師:市立豊中病院臨床検査部 山内 一浩

特別講演

15:40～16:40

これで不安解消、胸の痛みの原因と治療法

講師:関西医科大学附属滝井病院 病院長 岩坂 壽二

日時 平成25年1月19日(土) 14:00～16:45 (受付13:30～)

会場 大阪府医師協同組合本部 8階大ホール
 (大阪市営地下鉄谷町六丁目駅③番出口下車)

参加費 無料

定員 200名(先着)

主催 社団法人大阪府放射線技師会
 社団法人大阪府臨床検査技師会

後援 大阪府・大阪市

連絡先 市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
 E-mail akane@mub.biglobe.ne.jp



今、日本ではHIV感染者・エイズ患者が増加しています。そのため、技師会でも青少年に向けて予防啓発運動を行っています。

今回、臨床検査技師や他の医療職種をめざす学生を対象に、HIV感染症の現状や予防について、さらに最新の治療や検査についての講演会を行います。会員の方のご参加もお待ちしております。

内容

1. HIV感染症の現状や予防

講師:大阪府健康医療部 保健医療室地域保健感染症課
 感染症グループ
 山中 麻紀(保健師)

2. HIV感染症の検査と治療

講師:大阪府立公衆衛生研究所 ウィルス課
 森 治代(主任研究員)

日時

平成25年1月26日(土) 17:30～19:30

会場

近畿医療技術専門学校

参加費

無料

連絡先

市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之

E-mail: akane@mub.biglobe.ne.jp



「大阪で拡がりが増えないHIV感染症—あなたに出来ることは？」

講師: 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター長 白阪 琢磨

主な先進国の中では“唯一 HIV 感染者が増加している国”と言われて久しい日本ですが、今もって HIV 感染者、エイズ患者共に増加の一途をたどっています。特に大阪では、全国平均を上回る率で感染者、患者が増加しているという由々しき状況にあります。

今回の学術講演会では、HIV 研究の第一人者である国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター長の白阪琢磨先生を講師にお迎えし、HIV 感染症についての現状や今後の課題についてご講演していただきます。府民・市民の皆様も交えて有意義な講演会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

日時

平成25年 1月12日(土) 14:00~15:30

会場

大阪医科大学 臨床第I講堂

参加費

無料

連絡先

大阪府済生会中津病院 検査技術科 深田 恵利奈

E mail: yuketu-osaka@mail.goo.ne.jp

大阪医科大学
案内マップ



他職種公開講座 第2回 北支部地域オープンセミナー



『ICT(Infection Control Team)活動の現状と課題』

【内容】 医師、薬剤師、看護師、検査技師の立場から、それぞれの取り組みを発表してもらい討論する。

本年4月の診療報酬改定で、地域連携の評価として「感染防止対策加算・感染防止対策地域連携加算」が新設されました。従来の感染対策が院内チームだけで行われていた取り組みであったのに対し、今回の改定では地域全体での取り組みに発展させ、新しい概念および評価体系に変更されました。

それに伴い加算1(400点)の医療機関と加算2(100点)の医療機関が、合同で年4回の合同カンファレンスを実施することが義務付けられました。しかし、同じ職種でも取り組み内容には施設間差があるのが現状のようです。

そこで、今回の北支部オープンセミナーでは、実際にICTに取り組んでいる医師、看護師、薬剤師、検査技師の方々に、それぞれの施設での取り組みの現状や課題を紹介いただき、標準化に向けての施設間・職種間の情報共有および意見交換の場にしたいと考えています。

「ICTってなに?」という基本的なことも説明していただきますので、ICTを理解する機会としての参加も大歓迎です。また、看護師さんや薬剤師さんにも役立つ情報もたくさんありますので、職場のみなさんも誘ってのご参加をお待ちしております。

日時

平成25年1月26日(土) 15:00~18:00

会場

大阪医科大学 臨床第II講堂 (上記地図参照)
(高槻市大学町2-7、阪急高槻市駅徒歩2分、
またはJR高槻駅徒歩10分)

参加費

会員500円(非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

北支部長 竹下 仁(大阪府三島救命救急センター)

Email: takesita302@osaka-mishima.jp

【講師】

臨床検査技師 白鷺病院 前田 富士子

看護師 箕面市立病院 四宮 聡

薬剤師 大阪医科大学附属病院 鈴木 薫

医師 市立豊中病院 東 孝次

他職種公開講座 免疫血清検査部門 特別講演会

学術部 免疫血清検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

大寒のみぎり、ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

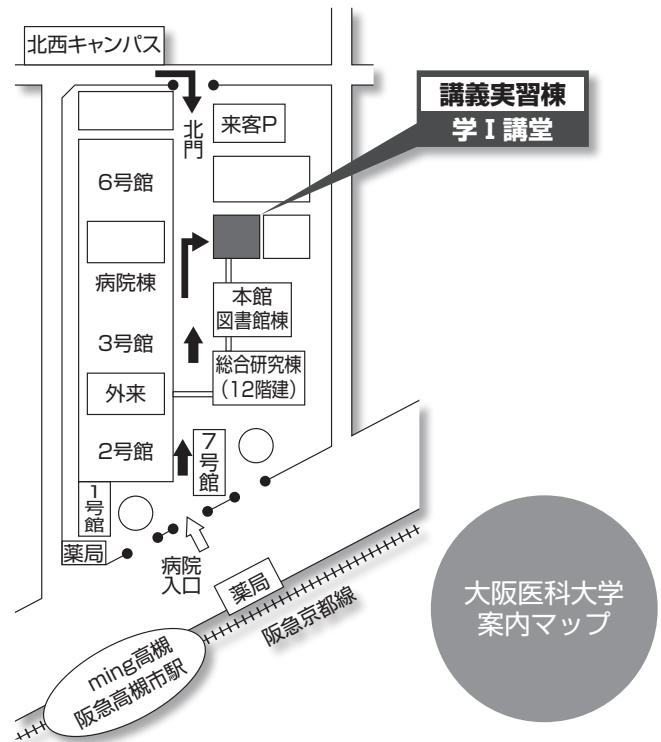
さて、今回の免疫血清検査部門特別講演会では、「尿」をテーマに東西対決を企画いたしました。「尿」は非侵襲的に採取できることから生体の情報源の一つとして広く利用されています。その中には腎機能マーカーはもちろんのこと、それ以外にも数多くのマーカーが潜んでいます。

今回、「尿」を多方面から分析し数多くのお仕事をされてきた中山亜紀先生をお招きし、「尿」という宝箱を開けていただこうと思います。一方で、「尿」を分析する際に、時間や温度など気を配らなくてはならない場面が数多くございます。分析によって得られたデータはどのように解析すべきなのか？そのノウハウを、楽しいご講演で有名な山西八郎先生にわかりやすくご解説していただく予定です。その後、総合討論の時間も設けさせていただきました。東西対決「尿」大喜利劇場をお楽しみいただけるはずですよ。

皆様にとって新しい発見がきっとあります。寒さの厳しい時期ではございますが、何卒お誘い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願いいたします。

Theme 『尿を科学する！』 総合司会 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁

- 15:00~16:00 尿を分析する！～真・生体情報宝物殿へのいざない～
講師：文京学院大学保健医療技術学部 中山 亜紀
- 16:10~17:10 尿を解析する！～未知なる驚きとの出会いを求めて～
講師：天理医療大学医療学部 山西 八郎
- 17:20~18:00 総合討論 ～「尿」が我々に与えてくれるもの～
司会：大阪医科大学附属病院 中央検査部 山本 憲司



日時
平成25年1月26日(土) 15:00~18:00

会場
大阪医科大学講義実習棟学I講堂

参加費
500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

定員
150名

主催
社団法人 大阪府臨床検査技師会 学術部 免疫血清検査部門

共催
社団法人 大阪府臨床検査技師会 学術部 一般検査部門

連絡先
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁
Email: k.ueda@ashiya-hosp.com

他職種公開講座 第2回 中央支部地域オープンセミナー

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 『検査技師と看護師から見たICTと感染防止対策』
＜院内感染対策における感染対策チーム(ICT)の役割と感染防止対策加算＞

平成24年度診療報酬改訂に伴い、感染防止対策加算が新たに新設されました。

(新) 感染防止対策加算1 400点 (入院初日) / (新) 感染防止対策加算2 100点 (入院初日)

今回は、現在各施設でのICTを含めた感染防止対策方法及び加算を例にとり、検査技師と看護師から見た ICT(感染対策(制御)チーム)の現状報告と取り組みを話していただく予定です。なお、詳細については、大臨技ニュース2月号で紹介いたします。

日時 平成25年3月2日(土) 14:30~16:30 (受付14:00~)

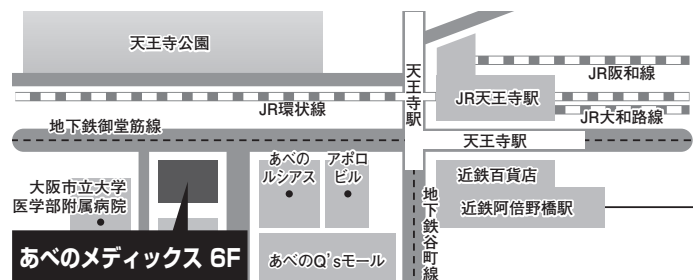
会場 あべのメディックス 6階ホール
大阪市阿倍野区旭町1-2-7 TEL 06-6645-3401

参加費 技師会員:500円・非会員:600円(資料代含む)・学生:無料

対象者 医療職種全般・一般・学生

定員 約140名

連絡先 大阪府済生会野江病院 臨床検査科 森 啓悟
E-mail kensa@noe.saiseikai.or.jp
TEL 06-6932-0401 (内線280番)



他職種公開講座 大臨技一般検査フォーラム2012

学術部 一般検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

「認定資格更新のための日臨技承認 指定講習会」

昨年度、大変好評だった「大臨技一般検査フォーラム」ですが、本年度も開催することとなりました。

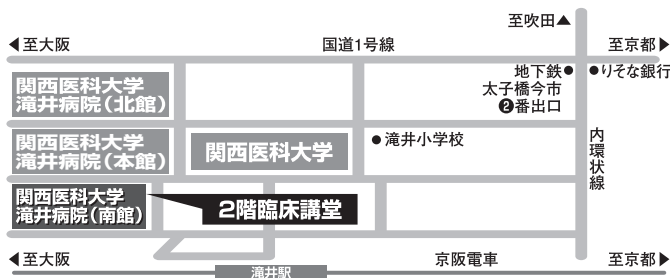
今回の内容は、午前中に尿沈渣の自動化による効率化を基調テーマとして4社によるプレゼンテーションを行い、午後からは腎臓における再生医療の最新の研究内容についてのご講演、山下美香先生による関節液や精液についての検査法、また西国広先生による、尿沈渣検査における異型細胞の鑑別法など盛りだくさんの内容となっております。

なお、本フォーラムは予約制となっております。お手数ですが下記の参加要項をご確認のうえ、お申込みください。多くの方のご参加をお待ちしております。

- **日時** 平成25年1月27日(日) 10:00~17:30
- **会場** 関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂
- **参加費** 1,000円
(非会員は別途資料代として1,000円が必要です)
- **定員** 100名
- **連絡先** 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門
堀田 真希
Email: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

内容

- 9:30~10:00 受付
- 10:00~10:30 「尿中有形成成分分析装置USCANNERシリーズについて」
講師: 東洋紡株式会社 診断システム事業部 外岡 正二郎
- 10:30~11:00 「尿中有形成成分分析装置 アイキュー200
~特長と画像利用の有用性~」
講師: 富士レボ株式会社 学術サービス部 山口 哲史
- 11:10~11:40 「オーションハイブリッドAU-4050 特徴と活用について」
講師: アークレイ マーケティング株式会社 学術センター
延原 崇之
- 11:40~12:10 「臨床の要求する尿沈渣情報
~各種ガイドラインに準拠したUX-2000~」
講師: シスメックス株式会社 大阪支店 宮前 英治
- 12:10~13:10 昼休み ※昼食は各自ご用意ください。またゴミは各自お持ち帰りください。
- 13:10~14:40 「尿中異型細胞鑑別のポイント」
講師: 株式会社エスアールエル常勤顧問 西国広
- 14:50~15:50 「再生医療の現状 ~幹細胞を用いた腎臓再生の可能性~」
講師: 大阪大学大学院医学系研究科 先端移植基盤医療学
国立循環器病研究センター 再生医療部 津田 秀年
- 16:00~17:30 「一般検査の知識を広げよう!
その① 精液検査について その② 関節液検査について」
講師: 厚生連廣島総合病院 臨床研究検査科 山下 美香



病院付近は駐車禁止区域となっておりますので、できるだけ電車・バスなどをご利用ください。

- 京阪電車「滝井駅」徒歩3分
- 地下鉄谷町線・今里筋線「太子橋今市」駅2番出口徒歩10分

【募集要項】

申込受付期間 平成25年1月4日(金)~平成24年1月24日(木) 定員になり次第終了します。

申込方法 Eメールにて下記の内容についてお送りください。

メールアドレス: osaka.ippan@gmail.com

①氏名 ②施設名 ③施設住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス

⑥会員番号・会員区分(会員証のある方のみ、日臨技・大臨技などの所属を記載)

※ お申し込み後、土日を除き2~3日中に確認メールをお送りいたします。

※ 携帯メールは基本的に不可とします。ただしEメールを受信可能な場合のみ可能とします。

※ お申し込みは1メールにつき1名とします。

※ 施設内での複数名受講は可能ですが、参加者が多数の場合は調整をお願いする場合がありますのでご了承ください。

他職種公開講座 臨床化学検査部門 講演会

学術部 臨床化学検査部門 からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme

「投与薬剤が検査値へ及ぼす影響」

講師: 積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター学術西日本グループ 金田 幸枝

検査値に影響する外因性要因に投与薬剤があります。

その機序は、投与薬剤に測定対象が含まれていたり、薬剤が検査試薬の反応系に影響したり、測定する色調に影響したりと様々です。

今回は過去から何度も繰り返されている事例や、ここ2~3年の間に話題となった事例などを中心にご講演していただきます。皆様、ふるってご参加ください。

- **日時** 平成25年1月10日(木) 18:30~20:00
- **会場** 大阪市立大学医学部 4階小講義室1
- **参加費** 500円
(非会員は別途資料代として500円が必要です)
- **連絡先** 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則
Email: shigei@med.osaka-cu.ac.jp

他職種公開講座 血液形態特別講演会

学術部 血液検査検査部門 からのお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

造血器疾患の診断に際しては、伝統的な細胞形態学的検査の重要性は、今もなお色褪せるものではありません。一方で WHO 分類第4版等に準拠した診断を行うためには、遺伝子検査の知識が不可欠となっています。講師自身も本当は遺伝子検査が大の苦手であるが、参加された皆様に造血器疾患の診療における遺伝子検査の有用性を少しでもご理解いただけるような平易な内容にしたいと考えています。血液担当技師の方は必見です!! ふるってご参加ください!!

日時

平成25年1月12日(土) 14:30~17:00

会場

あべのメディックス 6階

参加費

500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

共催

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

連絡先

星ヶ丘厚生年金病院 稲田 孝
TEL: 072-840-2641 (内線298)

内容:

14:30~

1. ADVIA2120iの血小板解析と臨床の有用性

講師: シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
秋葉 俊一

15:00~

2. ~本当は苦手だけれど~

血液検査技師が知っておきたい遺伝子検査の基礎と臨床

講師: 京都府立医科大学 感染制御・検査医学講師
同 附属病院臨床検査部副部長
同 輸血・細胞医療部副部長 稲葉 亨

他職種公開講座 生理検査部門 定期講習会

学術部 生理検査部門 からのお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



「ホルター心電図を基礎から学ぶ」

講師: 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 安保 浩二

心電図検査といえばやはり12誘導心電図ですね。安静中の12種類の波形から得られる様々な情報を組み合わせて不整脈や虚血などの診断を行います。ホルター心電図はもっと情報量が少なく2誘導もしくは3誘導の波形情報のみで心電図診断を行わなければいけません。しかも日常生活中ずっと記録するため記録状態も大きく影響します。そのような特性のあるホルター心電図を解析するには、心電図の判読力だけでなく、ホルター心電図を読み解く独特のコツが必要です。そのコツを知っているのと知らないのでは、最終診断が大きく変わることがあり、ホルター心電図検査を生かすも殺すもあなた次第です。今回、心電図のプロにホルター心電図の基礎から極意まで、わかりやすく解説していただきます。ぜひ、この機会にプロのコツをマスターしてください。皆さんのご参加をお待ちしております。

日時

平成25年1月24日(木) 18:30~20:00

会場

大阪医療技術学園専門学校 2階
(〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30)

参加費

500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

市立豊中病院 山内 一浩
Email: yamakazu_olive@yahoo.co.jp

他職種公開講座 病理特別講習会

学術部 病理細胞検査部門からののお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



呼吸器領域の病理組織標本の見方と考え方 ~肺癌と悪性中皮腫を中心に~

講師: 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 病理診断科 河原 邦光

今年度の病理特別講習会は、大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター病理診断科の河原邦光先生をお招きして、呼吸器領域の病理組織標本の基本的な見方・考え方、特に肺癌と悪性中皮腫およびそれらの鑑別診断についてご講演していただきます。肺癌についてはWHO分類や肺癌取扱い規約の次期改訂に盛り込まれるであろう新しい組織分類について、悪性中皮腫については組織像とともに細胞像についても解説していただきます。病理細胞検査に携わっておられる方はもちろん、「また組織分類変わるんかいな・・・」、「中皮腫は難しいなあ・・・」っと思っている方にも興味をもって受講していただける内容ですので、みなさんふるってご参加ください。

日時

平成25年1月18日(金) 18:45~20:15

会場

住友病院 14階講堂

参加費

500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

南大阪病院 宇津野 美弥子
Email: jako@oct.zaq.ne.jp

他職種公開講座 微生物検査部門 定期講習会

学術部 微生物検査部門 からのお知らせ

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

微生物検査は適切な感染症診断・治療を行うためには極めて重要な検査です。微生物検査を正しく行うには幅広い知識や技術の習得はもちろんですが、これらを上手く使いこなすための経験と実績を積み重ねることです。日々の症例を先生と話し、真摯に取り組むことが大切です。

そこで、大阪大学医学部附属病院の 豊川真弘先生に『知的微生物検査のすすめ』と題してご講演いただきます。みなさんふるってご参加ください。



知的微生物検査のすすめ

講師：大阪大学医学部附属病院 臨床検査部 豊川 真弘

日時

平成25年1月22日(火) 18:30~20:00

会場

大阪医療技術学園専門学校 2階
(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)

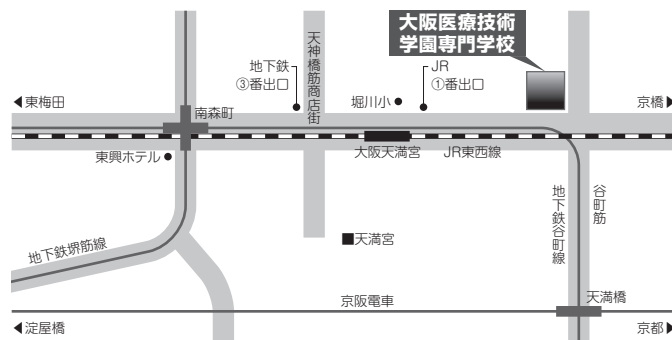
参加費

500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也

Email: nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp



基礎技術講座

はじめてのグラム染色、これからのグラム染色

感染症の診断において、グラム染色は最も早期に病原体を予測できる検査の一つです。グラム陰性、陽性、桿菌、球菌など形態的特徴や白血球、リンパ球、単球、上皮細胞、フィブリン塊などの細胞成分の有無を確認することにより、適切な抗菌薬の選択につながります。よって、グラム染色は感染症診断において無くてはならない検査に位置付けられています。

また、安価で簡便であるため、どこの施設でも顕微鏡と染色液があれば実施可能です。加えて、検体検査 管理加算にも記載されており、病院収益にも関わってきます。それらの背景から、多くの施設で取り入れられているのではないのでしょうか。

本実習では、グラム染色を中心として、検体の取り扱い・標本作製・染色・顕微鏡観察・抗酸菌や真菌その他稀な感染症の供覧などを、実技と講義とディスカッションを織り交ぜた塗抹検査の基礎技術講座を実施します。これから塗抹検査を始めようという方々は、特にふるってご参加ください。

日時

平成25年2月9日(土) 10:00~17:00 (受付9:30~)

会場

大阪市立大学医学部基礎学舎 5階 微生物実習室
(最寄り駅：各線天王寺駅)

定員

先着40名

受講料

2,000円

申込み方法

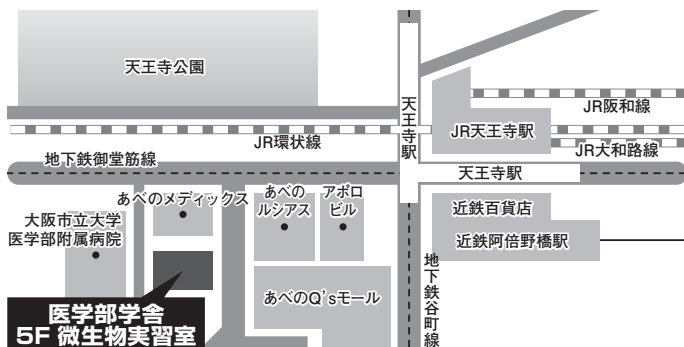
- ①氏名 ②会員番号 ③施設名
- ④所属部署、連絡先(TEL・Eメール)
- ⑤細菌検査の経験(有無 or 年数)
- ⑥施設で使用しているグラム染色の方法名
(ハッカー・フェイバー・B&M など)
- ⑦実習後の「懇親会」の参加可否を記載のうえ、
下記メールアドレスにお申込みください。
(携帯からの申込みは、下記メールアドレス受信が可能であれば「可」です)

1週間以内に参加登録可否のメールを送信いたします。
返信がなければお電話ください。

申込み先 (財)浅香山病院 中央臨床検査部
李 相太(り そうた)

TEL: 072(229) 4882

E-mail: osaka.amt.microbiology@gmail.com



平成24年度 大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告 「大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会」

大臨技標準化推進委員会は、平成24年10月に第5回大臨技精度管理調査を実施しました。現在の医療において臨床検査データの標準化は必須の課題であり、大臨技としても、よりよい事業にすべく今後も継続そして推進していく予定であります。

また今年度は、サーベイ項目数も大幅に増やし日臨技が進める日臨技精度保証施設認定制度にも対応しています。いろいろと問題点が出てくるとは思いますが、標準化推進事業に参加された方、この事業にご興味のある方々にご参加いただき、今回の事業報告ならびに標準化推進事業に対するご意見をうかがいたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時
平成25年2月2日(土) 14:00~17:00

会場
あべのメディックス 6階ホール

参加費
会員 500円、非会員 3,000円

連絡先
大阪厚生年金病院 中央検査室 竹村 真俊
TEL: 06-6441-5451 (内線2345)
Email: m-takemura@okn.gr.jp

評価点 基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

他職種公開講座 情報組織部 チーム医療部門 糖尿病療養指導部会からのお知らせ 第22回 糖尿病療養指導士講演会

日時 平成25年2月10日(日) 13:20~17:00
(受付12:45~)

会場 大阪大学中之島センター 10階ホール

参加費 500円
(非会員は別途資料代として500円が必要です)

共催 サノフィ株式会社

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として
 <第2群> 糖尿病療養指導研修 1単位
 (認定番号 12-1028) あるいは、
 <第1群> 自己の医療職研修単位-臨床検査技師-1単位
 どちらか一方で認定申請可能です。

Theme これからの糖尿病療養指導に
望むこと望まれること

内容
講演1部
1. 「当院における糖尿病ケアチームの活動」
講師: 大阪警察病院 臨床検査技師 坂口 恭子
2. 「チームで取り組む糖尿病療養指導
-患者さんをエンパワーメントするために-」
講師: 大阪市立総合医療センター 糖尿病看護認定看護師
熊野 真美

講演2部
「検査の情報を如何に糖尿病診療・療養に活かすか!!」
講師: 大阪厚生年金病院 内科部長 宮田 哲

Report 糖尿病療養指導部会からの報告

紅葉の美しい宝ヶ池の国立京都国際会館で去る11月17日(土)に糖尿病学会近畿地方会が開催されました。そこで糖尿病療養指導部会から『臨床検査技師による療養場面の劇を取り入れた参加型講演会「糖尿病劇場」の試み』というタイトルで発表しました。(発表者: 中石医院 馴松麻悠)

内容は、臨床検査技師による療養指導場面を再現し、参加者同士でディスカッションを行った平成24年2月の講演会についてです。糖尿病患者さんのために臨床検査技師もこんなことができる、ということを知ってもらい、さらに療養指導のあり方について考え直す機会とするため、講演会で糖尿病劇場を企画したものです。

終了後のアンケートからは大きな反響がうかがわれました。
(大臨技ニュース4月号に参加者からの感想文掲載)

このことを糖尿病学会で発表することで、さらに多くの人に臨床検査技師による療養指導の可能性を知ってもらえたのではないかと思います。

現在、臨床検査技師による糖尿病療養指導は保険点数に反映されていません。しかし、糖尿病学会の「患者教育」や「チーム医療」のセッションでも「臨床検査技師」の名前の出ることが少しずつ増えてきました。あきらめずに地道に活動を続けていくことで認知度が高まっていくのではないかと思います。

今後も糖尿病療養指導部会では、療養指導のレベルアップにつながるような勉強会を開催できるよう努めたいと思っています。当部会の世話人として「一緒に活動してみたい」と思われる方はぜひ、ご連絡ください。

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp



生殖医療技術部門講演会 (大臨技・奈良臨技合同開催)



『婦人科がんについて学ぼう!! -診断から治療まで-』

講師:大阪鉄道病院 婦人科 熊谷 広治

以前なら、がんを発症した患者さんが子供を産むことはあきらめられていましたが、がんの治療成績の向上に伴い寛解後に子供を産むことが可能となることも少なくはなく、不妊治療を受けられる患者さんも増えつつあります。

そこで今回の講演会では、婦人科領域(子宮や卵巣など)のがんについて取りあげました。婦人科領域のがんに対する診断や治療など、わかりやすくご講演していただきます。

また、最近の話題でもある『卵巣・卵管・腹膜に見られる漿液性腺癌は卵管采が腫瘍発生の起源!!』という仮説についてもご講演していただきます!!

当講演会は臨床検査技師だけでなく、一般の方や他職種の方の参加も大歓迎!! 皆さまお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしています。

日時

平成25年2月20日(水) 18:45~20:00

会場

大阪鉄道病院 3階会議室
(〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町 1-2-22)

参加費

無料

連絡先

大阪鉄道病院 臨床検査室 内野 義彦
TEL: 06-6628-2221 (内線 5165)



ご注意

セキュリティの関係上、ご面倒ですが入館の際に守衛室で講演会参加の旨を申し出て、入館名簿に氏名等のご記入をお願いします。

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

輸血セミナー2013

学術部 輸血検査部門からのお知らせ

今回の輸血セミナーは、午前中に講演2題、午後からは「みんなで考えよう!こんな時どうしよう?」と題して全員参加型の症例検討を企画しています。

悩ましい症例に遭遇した時、次なる最善の一手をどうするか? 選択肢から皆さんに選んでもらう方式で進めていく予定です。症例内容はただ今企画中です。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしています。

日時

平成25年2月9日(土) 10:00~16:00

会場

大阪医科大学 臨床第I講堂 (マップ:本文3ページ参照)

参加費

3,000円(非会員は別途資料代1,000円が必要です)

連絡先

大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈
E-mail: yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

内容

10:00 ~ 11:00	講演 1.「輸血と血小板関連病態」 講師: 関西医科大学附属枚方病院 第1内科 野村 昌作
11:00 ~ 12:00	講演 2.「輸血副作用の実際」 講師: 近畿ブロック血液センター 阿藤 秀樹
12:00 ~ 13:00	昼休憩(昼食は各自でご用意ください)
13:00 ~ 16:00	「みんなで考えよう!こんな時どうしよう?」 (ただ今企画立案中。お楽しみに!)

平成24年度 日臨技関西支部 臨床化学研修会

Theme 『データの見方・考え方』

日時 平成25年2月3日(日) 10:00~16:00

会場 和歌山県立医科大学 生涯教育センター3階
和歌山市紀三井寺811-1

受講料 3,000円(参加費・テキスト代・昼食代込)

定員 80名

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

申込み方法

下記宛にEmailにて、施設名、氏名を記載し、Emailの件名を「H24臨床化学研修会参加申込み」とし送信してください。

問合せ先

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部
電話: 073-447-2300 (内線 2389)
Email: waka.kagaku@gmail.com
担当: 堀端 伸行

内容の詳細は大臨技ホームページを参照してください。

主催: 日本臨床衛生検査技師会

事務担当技師会: 和歌山県臨床検査技師会

第29回 技師長会のお知らせ



今回は「新規採用者の教育はどうすれば良いのか？」を考えます！

- 日 時 平成25年2月23日(土) 14:00~17:00
- 会 場 関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂
- 参加費 大臨技および他府県会員 500円
(非会員は別途資料代として500円が必要です)

Theme 「卒前・卒後教育」

- 内容
- 講演1 「卒前教育(仮)」
 - 講演2 「卒後教育(仮)」
 - 講演3 「企業における新人教育(仮)」
 - ディスカッション

詳細は2月号を参照してください。

他職種公開講座 平成24年度 手話講演会

渉外部 からのお知らせ

Theme 「医療におけるバリアフリーコミュニケーション」

講師: 会社の保健室 踊る保健師(心理カウンセラー) 徳永 京子

手話講演会は、患者さんにやさしい病院づくりを目的に行っています。みなさん、検査室に聴覚障害者の方が来られたことがありますか。

今回、医療現場で、耳の聞こえない人たちがどのように困っているかを徳永先生に紹介していただきます。それにあわせて医療現場で使う手話を教えていただきます。多数のご参加をお待ちしています。

- 日 時 平成25年2月2日(土) 15:00~16:45
- 会 場 近畿医療技術専門学校
- 参加費 無料
- 連絡先 市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
Email: akane@mub.biglobe.ne.jp

評価点 基礎教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

平成24年度 近畿一般検査分野研修会 開催案内

Theme 「明日から役立つ一般検査」

- 日 時 平成25年2月24日(日) 9:00~16:00
- 会 場 神戸常盤大学 2号棟2階 講義室
- 受講資格 日臨技会員、もしくは近畿2府5県の地臨技会員
※近畿以外の地臨技会員は非会員扱いとなりますのでご注意ください
- 参加費 会員5,000円(参加・テキスト・昼食代)、
非会員15,000円
- 定 員 100名
(当日参加も可能ですが、昼食の数に限りがあります)
- 問合せ先 社会保険神戸中央病院 検査部 石川 正美
Email: kensabu@kobe-hosp.jp
件名を「石川正美宛」としてください。
電子メールが使用できない場合のみ、
078-594-2211 までお願いします。

評価点 専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

申込み方法 電子メールにて、件名を「近畿一般検査分野研修会 申込み」とし、下記の内容をみれなく記入の上、送信ください。記入漏れがある場合は受講できないことがありますのでご注意ください。
※締切日が12月31日となっておりますが、定員にまだ余裕がございますので、早急にお申込みください。

Email: kinringi.ippan@gmail.com

- ①氏名、②振り仮名(全角カタカナ)③所属施設名、④所属施設の住所、⑤施設の電話番号、⑥所属技師会名(例)大臨技会員・日臨技会員、兵臨技会員等、⑦技師会 会員番号、⑧受付確認のための返信用のメールアドレス、⑨領収書の要否

お申込み後、土日・祝日を除き数日中に確認メールをお送りいたします。1週間以内に返信なき場合は、ご面倒ですが下記問合せ先までご連絡ください。携帯電話のメールによる申込みは原則不可とします。

ただしパソコンからの電子メール(Gmail)を受信できる場合のみ可能とします。お申込みは1メールにつき1名とします。

定員に達した場合には参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

内容の詳細は大臨技ホームページを参照してください。

主 催: 日本臨床衛生検査技師会

実務担当技師会: 兵庫県臨床検査技師会

第5回 緊急検査部会 勉強会



評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme あんな症例・こんな症例 ~いっしょに経験しませんか~ Part II

平成24年度緊急検査部会最後の勉強会は、昨年たいへんご好評を得ました、『あんな症例・こんな症例』を取り上げて、いっしょに経験したいと思います。

症例は、日ごろ良く遭遇する症例から頭を抱える症例までお役に立つこと間違いなしです！！

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時 平成25年2月12日(火) 18:30~20:00

会 場 大阪鉄道病院 3階 大講堂

参 加 費 会員500円、非会員3,000円

連 絡 先 大阪府立泉州救命救急センター 福田 篤久

Email: atsuhiisa@sccmc.izumisano.osaka.jp

TEL: 072-464-9911 (内線9601)

Report

緊急検査部会 感想文

府民公開講座 「THE 脳卒中」を受講して 於:平成24年11月17日(土) あべのメディックス

当日は朝から大荒れ、家を出るのを躊躇するような大雨である。しかし、テーマは「THE 脳卒中」。

頭に「THE」がついている。これは、ただ事ではない、に違いない。ずぶ濡れ覚悟で家を出た。

講座の前半は、脳卒中の実態やハイリスクな状態が、リアルな画像や最先端の血液検査から示された。また脳卒中発症を防ぐ食生活について、とりわけ減塩の重要性について、講義があった。

講座後半は、脳卒中治療を専門とする八尾市立病院脳神経外科の都築先生の講義である。脳卒中による死亡率は、悪性新生物、心疾患、肺炎に次ぐ第4位(平成23年)であるが、寝たきりになる原因のトップが脳卒中(35.5%)であり、依然として対策が急務、とのこと。講義では、脳卒中の実態、最先端の治療、予防の極意について、非常にわかりやすくご教授頂いた。

実は、大雨を押してでも本講座を受講したかった理由が2つある。

一つは、私の従事する仕事に関係する。私の勤務する職場は、大阪市内で発見された異状死体(事件性のないもの)の死因を調べる所である。

当事務所の監察医は、10~20体のご遺体と日々対面し、その最後の声に耳を傾けている。若い人でも脳出血で亡くなる方がいる。動脈硬化で閉塞した血管も、行政解剖で一目瞭然となる。これらを目の当たりにすることから、脳卒中予防と治療の最前線について、是非学びたいと思った。

もう一つの理由は、私の家族に起きた出来事に関係する。数年前、父が夜中にトイレを出た後、突然倒れた。呂律が回らない、手足の脱力等の症状があり、慌てて救急車を呼んだ。ところが、救急車内で徐々に言葉が明瞭となり、病院へ着く頃には

ほぼ症状が消失していた。診察した医師は、何の処置もせずそのまま父を帰宅させた。翌日改めて画像検査等をしたが、何も見つからず、診療終了が告げられた。その時初めてTIA(一過性脳虚血発作)という言葉を知った私は、当時の医師の対応に今も疑問を抱いている。

講座を受講して、まずは父が本格的な脳卒中に至らなくて良かった、と思う。それでなくても父の脳卒中リスクはかなり高い。あの出来事以来、我が家の食事は薄味に一変した。その恩恵かどうか、その後、新たな発作は起きていない。ただし、父だけは食卓で醤油とソースをたっぷり愛用している。やはり、積み重なった生活習慣からの脱出は、自力ではなかなか困難なようだ。

脳卒中予防のコツは、食事・タバコ・酒に気をつけ、適度な運動と休養、ストレス対策、など昔から言われていることが中心である。今回の受講をきっかけに、私自身が「我慢する」対策ではなく、「楽しみながら続けられる」対策を心がけ、周囲の人も一緒に健康長寿を楽しめるよう、働きかけていきたい。

大阪府監察医事務所 杉山 恵美子



大臨技理事会報告 Executive board report

【平成24年度 大臨技第8回理事会(11月8日開催) 決定事項】

1. 日臨技関西支部医学検査学会準備委員会の立ち上げについて
平成27年に大臨技担当で開催される日臨技関西支部医学検査学会の準備委員会を立ち上げる。
2. 復興特別所得税適用に伴う講師料等の課税率変更について
平成25年1月1日より復興特別所得税が適用されることに伴い、講師料等の課税率が10.21%に変更される。
3. 平成25年度からの会費納入方法を変更する。詳細はホームページに掲載する。
4. 大阪市子ども医療費助成制度について
平成24年11月診療分から、大阪市在住の15歳(中学校修了まで)まで通院医療費個人負担が、1医療機関ごと1日当たり最大500円(月2日限度)となる。

重要

大臨技事務局より

平成25年度 大臨技会費納入のお願い

平成25年度から納入方法が変更になっています。
日臨技および大臨技に入会されている方は、別納から合算納入となります。

1 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費 10,000 円と大臨技年会費 5,000 円を合算した 15,000 円が、
日臨技に登録の振替口座から引き落としされます。

これに伴い、

- 1) 予め振替口座の残高確認をお願いします。
- 2) 日臨技へ会費振替口座の登録をされていない方は、平成25年1月10日(木)までに、日臨技を通じて「会費振替口座の登録」をしてください。
- 3) 平成24年度で退会を希望される方は、平成25年1月10日(木)までに、下記の処理を行ってください。
退会申請をされない場合、平成25年度会費が口座から引き落とし(平成25年2月27日予定)されます。
必ず期日までに退会の手続きを行ってください。

① 日臨技および大臨技を退会される方

- ▶ 日臨技退会の手続きを、日臨技ホームページから行ってください。
- ▶ 大臨技退会の手続きを、次のように行ってください。
大臨技ホームページから「大臨技退会届」をダウンロードして必要事項を記入後、大臨技事務局に提出してください。

② 日臨技のみ退会される方

- ▶ 日臨技退会の手続きを、日臨技ホームページから行ってください。
- ▶ 大臨技会費は、次の「大臨技のみに入会されている方」に準じて納入してください。

③ 大臨技のみ退会される方

- ▶ 大臨技退会の手続きを、次のように行ってください。
大臨技ホームページから「大臨技退会届」をダウンロードして必要事項を記入後、大臨技事務局に提出してください。

2 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備え付けの「払込取扱票」(白地に青枠の用紙)に、下記のとおり必要事項を記入し、
大臨技年会費 5,000 円を振り込んでください。振込手数料は各自で負担ください。

- ・ 口座番号 00950-1-1021 (正確に記入してください。)
- ・ 加入者名 社団法人 大阪府臨床検査技師会
- ・ 通信欄 「平成 25年度大臨技年会費」と記入すると共に、大臨技会員番号、施設番号(わかれば)、
および施設名も記入してください。

また、「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」(大臨技のみの会員専用)に加入される方は、7,950 円(大臨技年会費 5,000 円+保険料 2,950 円)を振り込むと共に「**大臨技臨床検査技師賠償責任保険 加入依頼書**」(大臨技ホームページよりダウンロード)を提出してください(加入依頼書の提出は年毎に必要です)。
「払込取扱票」の通信欄には「平成 25 年度大臨技会費+保険料」と記入してください。

※上記についての詳細は、大臨技ホームページの「平成 25 年度からの会費納入方法の変更について」
および「大臨技臨床検査技師賠償責任保険について」をご覧ください。

3 日臨技のみに入会されている方

従来どおり、日臨技に登録の振替口座から引き落としされます。

詳細は大臨技ホームページをご参照ください。

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成25年2月号の原稿メ切は**1月4日(金)**、3月号は**2月2日(土)**です。